

現代社会における過去の取り扱いを探究する中学校歴史授業 —「信玄公祭り」—

Studying Historical Culture in History Classes at Lower Secondary Level : Unit Plan “Shingen-ko Festival”

服部 一 秀* 細入 はるか** 王 瀝 彬**
HATTORI Kazuhide HOSOI Haruka OU Rekihina

要約：生徒の誰もが皆、生涯にわたって、多種多様な歴史が溢れる社会を生きていかなければならない。中学校社会科の歴史授業では、社会の見つめなおしや問いなおしのため、現在の社会における過去の取り扱いの有り様や在り方を生徒が熟考できるようにする必要がある。そのためには授業実践化の可能性が具体的に明らかにされなければならない。本小稿では、その一つの可能性を明らかにするため、小单元「信玄公祭り」を開発し、具体的な授業計画を提示する。身近な地域の歴史上の人物の祭りを掘り下げることで地域社会における歴史の利用や作用について考える社会科歴史授業を提起し、日本各地の中学校での類似の祭りに関する授業実践化のための一つのモデルを提供する。

キーワード：歴史授業 中学校 過去の取り扱い 歴史祭り 授業開発

I はじめに—「信玄公祭り」の開発理由

生徒の殆どは、将来、歴史研究者になるわけではない。けれども、生涯にわたって歴史に触れずに生きていくことはできない。というのは、歴史はアカデミックな領域だけのものではないからである。パブリックな領域においてこそ、多種多様な歴史が存在するからである。歴史ドラマ、歴史小説、歴史漫画、歴史祭り、記念碑、記念日、記念式典、記念演説などの事物は何れも、広い意味での過去についての語りであり、歴史と呼べるものである¹⁾。それらにはその時々における過去の取り扱いが表出される。いかなる歴史も人為的な構築物であり、何らかの政治的社会的立場を根底にもち、現在の認識や未来の志向と結びついている。生徒の誰もが皆、否応なく、そのような歴史が溢れる社会を生きていかなければならない。

そうであるならば、歴史授業では、現在の社会の見つめなおしや問いなおしのため、生徒が過去の社会について探究するという歴史の構築的な学習も必要であろうが、現在の社会における過去の取り扱いについて探究するという歴史の脱構築的な学習もまた必要であろう。自らを取り巻く社会のなかの様々な歴史に呑み込まれず、それらを対象化し、過去の取り扱いの有り様や在り方を問えるように育むことは、「国家・社会の形成者」育成のための歴史授業にとって重要な任務といえよう²⁾。それによって歴史授業において過去ではなく現在を直接的な対象とすることも可能となろう。

そのためか、近年ではアカデミックな領域における歴史の分析検討をねらう歴史授業³⁾に加え、パブリックな領域における歴史の分析検討をねらう歴史授業⁴⁾も追求されはじめている。しかしながら、その数はまだまだ僅かであり、しかも、それらは高等学校の歴史授業にほぼ限定されてしまっている。義務教育段階の中学校でもパブリックな領域における歴史の分析検討をねらう歴史授業が生徒にとって身近な素材によって積極的に展開されるべきであり、そのためには授業実践化の多様

* 社会文化教育講座 ** 教育学研究科修士課程社会文化コース大学院生

な可能性が具体的に明らかにされる必要があるだろう。

そこで本小稿では、その一つの可能性を明らかにするため、中学校社会科の歴史的分野における歴史祭りに関する具体的な授業計画を提示する。それは小单元「信玄公祭り」である。信玄公祭りとは、山梨県信玄公祭り実行委員会・甲府市信玄公祭り実行委員会の主催により毎年4月上旬に山梨県甲府市で開催される祭りであり、川中島の合戦に出陣する武田信玄率いる武田二十四将の騎馬武者行列「甲州軍団出陣」がその中心イベントである⁵⁾。この祭りは1970年に県外から観光客を誘致し地域振興を図ることを主目的に行政主導で始められた⁶⁾。2013年4月5日(金)～7日(日)の第42回信玄公祭りでは俳優の松平健が武田信玄役をつとめ、大勢が見物につめかけた。「信玄公祭り」は、祭りとしては比較的新しい信玄公祭りについて探究することにより、現在の地域社会における歴史の利用や作用について考えられるようにする小单元であり、山梨県内とりわけ甲府市内の中学校での実施を想定して作成されている。この小单元の授業計画により、身近な地域の歴史上の有名な人物の祭りを掘り下げることで地域社会における過去の取り扱いについて考えるという新たな歴史授業を提起し、日本各地の中学校での類似の祭りに関する授業実践化のための一つのモデルを提供したい。「信玄公祭り」のねらいと基本構成について説明し、その上で具体的な授業計画を提示し、その特質・意義を示すことにしよう。

Ⅱ 「信玄公祭り」のねらいと基本構成

小单元「信玄公祭り」は、中学校歴史的分野の一般的な指導計画に基づくならば、「戦国の動乱」の学習の一環に位置づき、戦国時代についての一定の学習を踏まえて実施するものである。その他、歴史的分野の導入单元あるいは終末单元の一部として行うことも可能ではないか。

この「信玄公祭り」では、身近な地域において象徴的人物とされる戦国武将の祭りについて取り組ませる。地域振興のための利用に焦点化し、また、住民の見方や意識への作用にも着目させたい。主要なねらいは、行政の主導による武将の祭りが地域振興のために有名な人物の歴史を観光資源として利用しようとするイベントであることとらえられること、したがって、歴史上の人物を地域の歴史の象徴的人物として取りあげ見せ物としての魅力を重視して表現していることがわかること、また、そのような祭りが地域住民の見方や意識に対して影響を及ぼすという作用をもちうることに気づくこと、それらを踏まえて祭りの今後について考えることである。

山梨県内とりわけ甲府市内の中学校での実施を想定し、この小单元では、戦国武将の祭りについて取り組ませるための教材として、信玄公祭りという山梨県甲府市で毎年開催されている祭りを取りあげる。信玄公祭りは次の5点を基本的性格としている⁷⁾。第一に、武田信玄という地域の有名な歴史上の人物を取りあげること、第二に、近世以前に起源をもつ祇園祭などと違い、1970年に開始されたものであり、近代以降に創設された比較的新しい祭りであること、第三に、山梨県や甲府市という行政の主導によって行われていること、第四に、東京など県外からの観光客の誘致による経済効果を主目的としていること、第五に、武田信玄を山梨や甲府の歴史を象徴する人物として取りあげ、出陣の場面を忠実に再現しているようであるけれども、実在のものとはいえない「武田二十四将」によって騎馬武者行列を編成するなど、祭りの目的により実際には脚色したイメージを呈示していることである。これらは日本の諸都市における宗教色のない歴史祭りにほぼ共通する性格でもある。信玄公祭りはそのような性格を有しているとともに、集客数において屈指の歴史祭りである。山梨県や甲府市に在住する中学生にとって身近な祭りであると同時に現代都市の歴史祭りとして典型的なものでもある。「信玄公祭り」では、そのような信玄公祭りを教材として取りあげ、武将の祭りの有り様や在り方について取り組ませる。

そのために全体は段階的に構成される。その基本展開を対象と考察、主要な問い、問いへの取り組みによる信玄公祭りの見方の変化によってまとめたものが、表1である。

表1 小单元「信玄公祭り」の基本展開

段階	対象	考察	主要な問い	信玄公祭りの見方の変化
I 信玄公祭りの存在把握	信玄公祭り	存在把握	信玄公祭りの「甲州軍団出陣」では何が表されているのでしょうか。 ⇒武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では武田信玄の祭りが行われるのでしょうか、今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか。	事実を再現しているもの →イメージを呈示しているもの
II 信玄公祭りの分析		分析	武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では武田信玄の祭りが行われるのでしょうか。 信玄公祭りは武田信玄の没後に甲斐の一般の人たちによって始められたものでしょうか。 何のために信玄公祭りが行政主導で1970年に始められ現在まで続けられているのでしょうか。	自然発生的にうまれたもの →社会的にうみだされたもの
III 信玄公祭りの評価		評価	今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか。 (⇒授業後の課題：他の多くの地域でも歴史上の武将の祭りが行われていますが、それはどうしてでしょうか。どうして明治時代以降の人物の祭りは少ないのでしょうか。また、何かの目的のために歴史上の武将を利用しているモノやコトは他にあるでしょうか。)	社会的にうみだされたもの →社会的にうみだされ社会的に作用するもの／人々の判断によってよりよくしていくもの

既に在るもの↓別様に在りうるもの（よりよく改めうるもの）

表1の通り、この小单元は一貫して信玄公祭りを対象とし、存在の把握、分析、評価という3つの考察によって生徒にアプローチさせ、3段階で学習を展開させる⁸⁾。第I段階は、信玄公祭りの存在を把握する段階である。第II段階は、信玄公祭りを分析する段階である。第III段階は、信玄公祭りを評価づける段階である。

第I段階では、「信玄公祭りの『甲州軍団出陣』では何が表されているのでしょうか」という問いの下、生徒は武田信玄のプロフィールや業績を確かめ、信玄公祭りの中心行事である騎馬武者行列「甲州軍団出陣」で表されている場面・様子、史実との関連、脚色された表現とそこに込められているメッセージを掴む。そうして「武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では武田信玄の祭りが行われるのでしょうか、今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか」という課題を設定する。この段階では、信玄公祭りの存在把握により、過去の事実を再現しているものから脚色したイメージを呈示しているものへと信玄公祭りの見方を改め、史実と祭りを区別し、信玄公祭りの内容を確認した上で、さらなる学習課題を設定する。

第II段階では、「武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では信玄公祭りが行われるのでしょうか」という問いの下、2つのパートで考察をすすめる。パート1では、信玄公祭りが始まった時期と祭りの創設の主体を確かめ、信玄公祭りは信玄没後の江戸時代に一般の人たちによって始められたのではなく、1970年に行政主導で政策的意図をもって開始されたものであり、比較的新しい祭りであることをとらえる。パート2では、その政策的意図を探るため、改めて信玄公祭りの内容や表現を読み解くとともに、1970年当時や現在の社会的背景とも結び

つける。これら2つのパートによる信玄公祭りの分析により、生徒は自然発生的にうまれたものから社会的にうみだされたものへと信玄公祭りの見方を改め、地域振興のために全国的に有名なイメージ上の武田信玄を観光資源として経済的に利用しようとする祭りの社会的な成り立ちをとらえる。

第Ⅲ段階では、「今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか」という問いの下、生徒は信玄公祭りの実際の経済効果の検証結果を確かめるだけでなく、地域住民の歴史の見方や郷土意識・住民意識への影響作用を考え、それらをもとに信玄公祭りの今後について検討する。この段階では、信玄公祭りの評価づけにより、社会的にうみだされたものから、社会的にうみだされたものであるとともに社会的に作用するもの、人々の判断によってよりよくしていくものへ、信玄公祭りの見方を改め、祭りの在り方を熟考する。

このように「信玄公祭り」では、これらの3つの段階によって考察を展開させる。第Ⅰ段階における信玄公祭りの存在把握を踏まえて第Ⅱ段階において分析し、さらに第Ⅲ段階において今後に向けて信玄公祭りを評価づける。生徒は各段階において信玄公祭りという歴史祭りの見方を改めつつ考察をすすめる。既に在るものとして絶対化する見方から、別様に在りうるものとして相対化する見方へ、信玄公祭りの基本的な見方を3つの段階を通して大きく転換させる。社会の新たな形成と基本的に同様の論理で信玄公祭りについて取り組み、地域社会によってつくられたものであり地域社会をつくるものでもある祭りの有り様とともに新たな在り方を考える。

信玄公祭りを取りあげ、生徒がその見方を変化させつつ、存在把握から分析、さらに評価へと考察をすすめることにより、信玄公祭りを鵜呑みにせず、熟考的にかかわり、地域社会における歴史上の人物の利用やその作用をとらえ、社会の形成のための一環として現在における過去の取り扱いを見つめなおしたり問いなおしたりするのが、この「信玄公祭り」の基本構成である。

Ⅲ 「信玄公祭り」の授業計画

「信玄公祭り」は、生徒が信玄公祭りという身近な地域の歴史祭りの見方を変化させつつ、存在把握、分析、評価に取り組み、現在の社会における歴史上の人物の取り扱いを見つめなおしたり問いなおしたりすることを可能にしようとするものである。

そのような「信玄公祭り」の具体的な授業計画を表2として示そう。

表2 小単元「信玄公祭り」の授業計画

[単元名]

中学校社会科歴史的分野：小単元「信玄公祭り」（2時間）

[目標]

- ・ 信玄公祭りの騎馬武者行列（時代行列）は武田軍の出陣の事実を再現しているのではなく脚色したイメージを呈示してメッセージを発していることを掴む。
- ・ 信玄公祭りを地域振興のために有名な人物の歴史を観光の資源として利用しようとする行政主導のイベントをとらえる。
- ・ 信玄公祭りが地域住民の見方や意識に対して及ぼしうる作用に気づき、信玄公祭りを地域社会における歴史の利用という観点とともに作用という観点から吟味し、今後の在り方を考える。

[学習展開]

段階	教師による主な発問・指示	資料	予想される生徒の回答・考え（あるいは教師の説明）
I 信玄公祭りの存在把握	<ul style="list-style-type: none"> この映像は何をうつしたものがわかりますか。 信玄公祭りとは何ですか。 映像にもうつっている信玄公祭りの中心の行事は何ですか。 <p>◎信玄公祭りの「甲州軍団出陣」では何が表されているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本当にそうなのか考えてみましょう。まず、武田信玄とは誰ですか、実在の人物ですか。武田信玄は主にどんなことを行いましたか。教科書や『ふるさと山梨中学校版』を参考にして確認してみましょう。 「甲州軍団出陣」の武田信玄役は一目で信玄であることがわかりますが、それはどうしてですか。 実は武田信玄が本当にそうした兜をかぶっていたという確かな証拠はありません。江戸時代に信玄の「諏訪法性の兜」を想像してつくられたと考えられるものが諏訪湖博物館に所蔵されています。その兜と比べてみましょう。 では、武田二十四将とは何ですか。 武田信玄を中心とする武田二十四将は実在したのですか。解説を読んで確認してみましょう。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 信玄公祭り。 信玄公祭りとは、山梨県甲府市で4月上旬に開催される武田信玄の祭りである。 「甲州軍団出陣」という騎馬武者行列が信玄公祭りの中心的な行事である。 武田信玄を中心とする武田二十四将の軍団が川中島の合戦に出陣した場面を再現しているのではないだろうか？ 武田信玄は甲斐（山梨県）の戦国大名（甲斐源氏武田家の第19代当主）であり、甲府に拠点があった。 武田信玄が活躍したのは16世紀であり（1521年生～1573年没）、その時代は一般的に戦国時代と呼ばれる。武田信玄は今から400年以上も前の人である。 武田信玄は、甲斐（山梨県）だけでなく、北は信濃（長野県）、南は駿河・遠江（静岡県）、東は上野（群馬県）、西は美濃・飛騨（岐阜県）にまで勢力を伸ばした。16世紀の中頃以降、数回にわたって上杉謙信とたたかった合戦が、川中島の合戦と呼ばれる。 武田信玄は、甲州法度之次第（信玄家法）という分国法をつくったり、信玄堤をつくって治水・利水につとめたりするなど、内政にもつとめた。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 諏訪湖博物館所蔵の兜にも兜葺がついているが、信玄公祭りの信玄役の兜に比べると少ない。 信玄公祭りの信玄役の兜のほうが立派なものに感じられる。 武田信玄の配下の有力な武将たちをいう。 テレビドラマでも有名な山本勘助もその1人とされる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 武田二十四将という呼び方は江戸時代になってからつくられたものである。武田二十四将は資料によって幾人かの人物が異なったり、人数が違ったり、活躍した時期が異なる人物が一緒に数えられていたりしており、実在のものとはいえない。武田二十四将とされる武将全てが同じ合戦に一緒に出陣したとも考えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 信玄公祭り。 信玄公祭りとは、山梨県甲府市で4月上旬に開催される武田信玄の祭りである。 「甲州軍団出陣」という騎馬武者行列が信玄公祭りの中心的な行事である。 武田信玄を中心とする武田二十四将の軍団が川中島の合戦に出陣した場面を再現しているのではないだろうか？ 武田信玄は甲斐（山梨県）の戦国大名（甲斐源氏武田家の第19代当主）であり、甲府に拠点があった。 武田信玄が活躍したのは16世紀であり（1521年生～1573年没）、その時代は一般的に戦国時代と呼ばれる。武田信玄は今から400年以上も前の人である。 武田信玄は、甲斐（山梨県）だけでなく、北は信濃（長野県）、南は駿河・遠江（静岡県）、東は上野（群馬県）、西は美濃・飛騨（岐阜県）にまで勢力を伸ばした。16世紀の中頃以降、数回にわたって上杉謙信とたたかった合戦が、川中島の合戦と呼ばれる。 武田信玄は、甲州法度之次第（信玄家法）という分国法をつくったり、信玄堤をつくって治水・利水につとめたりするなど、内政にもつとめた。 白い毛のようなフサフサの兜葺がついた兜をかぶっていることから武田信玄とわかる。白い毛のような兜葺がついた兜が武田信玄のトレードマークではないか。 諏訪湖博物館所蔵の兜にも兜葺がついているが、信玄公祭りの信玄役の兜に比べると少ない。 信玄公祭りの信玄役の兜のほうが立派なものに感じられる。 武田信玄の配下の有力な武将たちをいう。 テレビドラマでも有名な山本勘助もその1人とされる。 武田二十四将という呼び方は江戸時代になってからつくられたものである。武田二十四将は資料によって幾人かの人物が異なったり、人数が違ったり、活躍した時期が異なる人物が一緒に数えられていたりしており、実在のものとはいえない。武田二十四将とされる武将全てが同じ合戦に一緒に出陣したとも考えられない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武田信玄の兜や武田二十四将は江戸時代に絵図や歌舞伎などを通じて人々の共通のイメージとなっていたものなのですが、今私たちはどうして信玄公祭りの騎馬武者行列を見て変だと思わないのでしょうか。 ・ 「甲州軍団出陣」という騎馬武者行列ではどのようなものとして武田信玄や武田軍が表されていますか。 ・ 信玄公祭りは4月12日の直前の金～日に開催されますが、4月12日は武田信玄の命日です。命日の頃にこのような祭りをするということには、武田信玄についてのどんな思いが込められているのでしょうか。 <p>◎信玄公祭りの「甲州軍団出陣」では何が表されているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸時代にできあがったイメージに従ってつくられたテレビドラマやお土産やゲームなどのさまざまなものを通じて私たちの間にイメージがひろがり、過去の事実もその通りであったと受けとめている。 ・ 音楽やナレーションが流れる中、大勢が仮装して行列し、関をあげたり、旗印を掲げたりし、武田軍が力強い武田二十四将の軍からなる大規模でとても勇ましい戦国時代最強の軍団として表されている。それを指揮する武田信玄は最強の武将で威厳のある偉大な英雄として表されている。また、合戦や出陣が格好いいものとして表されている。 ・ 武田信玄は戦国時代屈指の武将である、信玄の時代はこの地域の栄光の時代であり、信玄は地域の歴史を象徴する英雄である、武田信玄は地域の誇りである、その偉大さや栄光の歴史を再認識し皆で讃えたい、という気持ちが込められている。 ・ 武田信玄や武田軍の出陣が脚色したイメージによって一種の絵巻物のように表現されることにより、武田信玄は戦国時代屈指の武将である、信玄の時代はこの地域の栄光の時代であり、信玄は地域の歴史を象徴する英雄である、武田信玄は地域の誇りである、その偉大さや栄光の歴史を再認識し皆で讃えよう、というメッセージが示されている。 ・ 信玄公祭りは過去の事実を再現しているのではなく脚色したイメージを呈示しメッセージを発している。
	<p>◎武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では武田信玄の祭りが行われるのでしょうか、今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか。</p>	
Ⅱ 信玄公祭りの分析	<p>◎武田信玄が亡くなってから400年以上もたっているのに、なぜ山梨県甲府市では武田信玄の祭りが行われるのでしょうか。</p> <p>○信玄公祭りは武田信玄の没後に甲斐の一般の人たちによって始められたものなのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に信玄公祭りが始まったのはいつでしょうか。第1回の祭りについて報じているものを見てみましょう。 ・ 9世紀に始まったといわれる京都祇園祭や13世紀に始まったといわれる博多祇園山笠などと比べると、信玄公祭りは古い祭りといえますか。 ・ では、信玄公祭りの主催者は誰でしょうか。信玄公祭りの公式パンフレットで確認してみましょう。 	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武田信玄は甲斐の英雄だったから、没後に信玄の功績を讃えるために祭りが始められ、地域の伝統行事として今までつづいているのではないだろうか？ ・ 武田信玄没後の江戸時代に、信玄の功績を讃えようとする甲斐の人たちによって自然発生的に始まったのではないだろうか？ ・ 信玄公祭りは、1970年（昭和45年）に第1回目が行われた（その前身である甲府信玄祭りは、1966年（昭和41年）に始まった）。 ・ 信玄公祭りは、京都祇園祭や博多祇園山笠などと比べると格段に新しい祭りといえる。 <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信玄公祭りの主催者は、山梨県信玄公祭り実行委員会と甲府市信玄公祭り実行委員会である。

<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の事務局は庁舎内にありますが、信玄公祭りの中心役を実質的に担っているのは何であるといえますか。 <p>○信玄公祭りは武田信玄の没後に甲斐の一般の人たちによって始められたものなのでしょうか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・実質的に行政が信玄公祭りの中心役を担っている。 ・信玄公祭りは自然発生的に始まったものではなく、1970年に何らかの政策目的に従って創設されたものである。
<p>○何のために信玄公祭りが行政主導で1970年に始められ現在まで続けられているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式パンフレットの内容を手がかりにして、信玄公祭りの一番の目的が何かを考えてみましょう。 ・本当に多くの観光客を呼んで楽しませるためか、信玄公祭りの工夫を公式パンフレットで見つけて考えてみましょう。 ・武田軍がとても強く勇ましい軍団であったというイメージや武田信玄は戦国時代最強の英雄であったというイメージによる「甲州軍団出陣」の演出も、観光客を楽しませるためのものなのでしょうか。 ・いろいろな工夫がされていますが、古い祭りの場合のように制約はないのでしょうか。 ・1970年頃、武田信玄という人物を中心にした祭りによって大勢の観光客を呼べると本当に目論んだのでしょうか、大河ドラマの年表を参考にして考えてみましょう。 ・今も武田信玄は全国的に有名なのでしょうか。 	<p>⑤</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑥</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公式パンフレットでは信玄公祭りの案内だけでなく、山梨県や甲府市の観光・物産の案内や宣伝に多くのページがさかれています。 ・信玄公祭りの一番の目的は、大勢の観光客を呼び寄せて食事・宿泊・買い物などによる観光消費の経済効果で地域の経済を潤すことではないか？ ・信玄公の命日が平日の場合は直前の土日に開催（観光シーズンの幕明けとなる4月上旬の土日に開催）。 ・武田信玄公役には有名芸能人を起用。 ・「甲州軍団出陣」が甲府駅前付近の中心部を夜間にパレードする大イベントの演出。武田信玄率いる武田二十四将のパレード。 ・公式ガイドブックを無料で配布。 ・公式ガイドブックにより、パレードする武田二十四将を紹介。 ・「武田陣屋」の設営。 ・多彩なイベントの開催。 ・大勢の観光客を呼び寄せて楽しませようとする数々の工夫がなされている。 ・英雄としての武田信玄像や地域の栄光の歴史を呈示し、それを通して観光客が求めるものに答え、勇猛果敢さや壮大さを表現し、見せ物として魅力あるイベントにしようとしている。 ・宗教的要素がない比較的新しい祭りなので、宗教的な制約はなく、集客のためのいろいろな工夫が可能である。 ・武田信玄は以前から優れた武将としてイメージされ、有名であった。また、1969年（昭和44年）にはNHKの大河ドラマ「天と地と」により上杉謙信と武田信玄が全国的に注目された。そこで全国的に有名な武田信玄を観光の目玉として利用しようとした。 ・中学校の歴史的分野の教科書にも登場する。また、武田信玄は、1988年の大河ドラマ「武田信玄」、2007年の大河ドラマ「風林火山」をはじめ、テレビドラマや映画などで取りあげられている。現在も、全国的に有名な武田信玄を観光のために利用しようとしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・1970年頃に行政が中心になって大規模な祭りをつくって観光に力を入れようとする背景が何かあったのでしょうか、山梨の年表や教科書を参考にして考えてみましょう。 ・1970年の第1回目は、実際、多くの観光客を呼び込めたのでしょうか。当時の新聞で確かめてみましょう。 ・現在の地域の経済にとって観光は重要なのですか。「山梨県内の観光による経済効果および雇用誘発効果」のデータを見て考えてください。 <p>○何のために信玄公祭りが行政主導で1970年に始められ現在まで続けられているのでしょうか。</p>	<p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時期は、中央線の便がよくなるとともに、自動車道路によって山梨県が東京を中心とする首都圏と結びついていく時期である。 ・この時期は、日本の経済が大きく成長した時期であり、人々の暮らしが次第に豊かになり、観光娯楽面の出費も増えていった。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目は2日間で20万人の人出があり、大成功であったと報じられている。 <p>⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年の場合、観光客の観光消費総額（直接効果）は約4461億円、観光客の消費に伴う生産・物流などへの経済波及効果は約1155億円、それらの経済活動に伴う雇用誘発効果は35508人であったとされる。 ・近年、山梨県の地域経済は停滞が指摘されており、また公共事業も減少する傾向にある。山梨県の雇用者数は約300000人であるので、30000人以上の雇用を誘発する観光は、現在の地域経済にとって重要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客を誘致し地域経済の振興を図るべく、行政主導で大規模なイベントを立ち上げ、全国的に有名なイメージ上の武田信玄を観光資源として経済的に利用している。 ・信玄公祭りは自然発生的にうまれたものではなく、社会的にうみだされたイベントといえる。
Ⅲ 信玄公祭りの評価	<p>◎今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信玄公祭りはねらい通りに観光客を呼び込めているのでしょうか、山梨県による検証の結果を見て確かめてみましょう。 ・信玄公祭りが私たちに与えるものは経済効果だけか考えてみましょう。山梨県甲府市で行政の主導で行う祭りが地域の歴史のなかの一時の人物である武田信玄の祭りであることをどのように感じますか。 ・もしも他の地域の人に山梨や甲府やそれらの歴史を紹介するとしたら、武田信玄について取りあげますか。どんな気持ちで取りあげますか。 	<p>(・賛成 ・条件付きで賛成 ・反対 ・わからない)</p> <p>⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「事務事業自主点検」のアドバイザー評価では、観光客数が増加するなど、「意図した成果を十分に上げている」と評価される一方、「祭りの中身の改良・改善に取り組み、さらなる知名度の向上、宿泊観光客の増加、中心市街地の活性化との連携などによる、内外にも知名度の高い武者祭りとして定着するよう見直しを行っていく」必要性が指摘されている。 ・大勢の観光客を呼ぶことはできており、山梨県や甲府市にこれだけの観光客を誘致できるイベントは他にないのではないか。 ・日帰りで帰ってしまう観光客が多いし、一過性的な人出であり、地域振興において限界があるのではないか。 ・もっと遠方からも観光客を呼べるようにする工夫が必要ではないか。 等々 ・違和感を感じない。武田信玄は地域の歴史のシンボルであり地域の誇りである。 ・違和感を感じる。武田信玄の他にも地域のために貢献した有名無名人物はいるし、信玄の時代が地域の歴史の全てではない。 ・誇らしい気持ち、自慢したい気持ちで武田信玄について取りあげる人が多いだろうし、自分もそうかもしれない。 等々

<ul style="list-style-type: none"> ・ 武田信玄を地域の歴史のシンボルや地域の誇りと受けとめている人は、どのようにしてそういった思いを持つようになったのでしょうか。信玄公祭りの存在や内容も関係していますか。 ・ 信玄公祭りによって、私たち住民の歴史の見方、地域や住民としての自分自身に対する意識には影響があるのでしょうか。 ・ 歴史上の人物を中心とする祭りは地域や人々に対してどのような働きをするものと考えられますか。 <p>◎今後も信玄公祭りをつづけていくべきでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたがそのように考えたときに一番大事にしたことはどんなことですか。 <p>◎他の多くの地域でも歴史上の武将の祭りが行われていますが、それはどうしてでしょうか。どうして明治時代以降の人物の祭りは少ないのでしょうか。また、何かの目的のために歴史上の武将を利用しているモノやコトは他にあるでしょうか。授業後に自分で考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父母・祖父母やまわりの人たちの話、伝説、テレビ、銅像、お土産、学校教育、地域行事、祭りなどのさまざまな物事を通して、武田信玄を地域の歴史のシンボルや地域の誇りと受けとめている。信玄公祭りの存在や内容も一つの要因と考えられる。 ・ 地域の歴史に興味関心をもつようになる。 ・ 山梨の歴史＝武田信玄というイメージが強くなる。 ・ 戦国時代は戦いばかりしていたというイメージが強くなる。 ・ 戦いは格好いいものというイメージが強くなる。 ・ 武田信玄は山梨の象徴的人物であり地域の誇る英雄であるという思いが強まる。 ・ 信玄をうんだ土地、信玄が活躍した土地、信玄の土地、栄光の歴史をもつ土地としての郷土意識、そのような歴史ある誇らしい郷土の一員としての住民意識が促される。 ・ 観光客を誘致し地域振興のために役立つ。 ・ 住民の見方や意識に影響を及ぼす。 ・ 信玄公祭りのような歴史上の人物の祭りは、社会的にうみだされたものであると同時に社会的に作用するものでもある。 ・ より大きな経済効果をあげられるように工夫したほうがよい。 ・ 40年以上も続いており、山梨県や甲府市を代表する行事であり、改良しつつ、つづけていくべきである。 ・ 取りあげる人物、人物の扱い方など、内容を改めたほうがよい。 ・ 行政による援助を減らして民間中心で行うように改めていったほうがよい。 等々 ・ 地域の経済振興 ・ 地域住民のまとまり ・ 住民個々人の自由な見方や意識 ・ 過去の事実、地域の歴史のとらえ方 ・ 行政の役割 等々
--	--

[授業資料]

- ①「信玄公祭り 2008」(映像), 富士の国やまなし観光ネット, http://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/internettv/n_0099.html
- ②「諏訪法性の兜」(写真), 山梨県立博物館『よみがえる武田信玄の世界』, 2006 年, p. 104
- ③ 平山優「武田二十四将って作り話?」, 萩原三雄編『山梨県の不思議事典』, 新人物往来社, 2009 年, pp. 33-34
- ④『山梨日日新聞』1970 年(昭和 45 年)4 月 13 日(月)朝刊 1 面(「二十四将も堂々と 信玄公祭り」)
- ⑤ 山梨県信玄公祭り実行委員会・甲府市信玄公祭り実行委員会『第 41 回信玄公祭り公式ガイドブック』, 2011 年
- ⑥ NHK「大河ドラマ一覧」, <http://www9.nhk.or.jp/taiga/catalog/index.html>
- ⑦ 山梨県編集発行『山梨県史概説編山梨県のあゆみ』, 2008 年, p. 383(「山梨県関連年表」より)
- ⑧ 甲府市観光開発課『甲府市観光振興基本計画 平成 21 年度～平成 25 年度』, 2009 年, p. 15(「山梨県内の観光による経済効果および雇用誘発効果」), <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kanko/shise/shisaku/shise/sangyo/documents/kankosinkokihonkeikaku.pdf>
- ⑨ 山梨県観光振興課「平成 23 年度事務事業自主点検シート(信玄公祭り開催費)」, http://www.pref.yamanashi.jp/gyoukaku/gyousei_hyouka/2011/documents/28-104401.pdf

[授業計画作成上の参考資料・文献]

- ・ 阿南透『『歴史を再現する』祭礼』, 『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』第 26 号, 1986 年, pp. 23-32.
- ・ 磯貝正義『図説山梨県の歴史』, 河出書房新社, 1990 年.
- ・ 甲府市観光開発課『甲府市観光振興基本計画 平成 21 年度～平成 25 年度』, 2009 年, <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kanko/shise/shisaku/shise/sangyo/documents/kankosinkokihonkeikaku.pdf>
- ・ 甲府市観光課「平成 24 年度事業報告・実施計画・“わ”の都こうふプロジェクト調査票(まつり推進事業)」, http://www.city.kofu.yamanashi.jp/zaise/shise/shisaku/kaikaku/hyoka/documents/09san09_maturi-suisin.pdf
- ・ 新谷尚紀「信玄公祭り・甲州軍団出陣」, 『山梨県史民俗編』, 山梨県, 2003 年, pp. 815-831.
- ・ 辻村明『大衆現象を解く』, 講談社, 1984 年.
- ・ 山梨県観光振興課「平成 23 年度事務事業自主点検シート(信玄公祭り開催費)」, http://www.pref.yamanashi.jp/gyoukaku/gyousei_hyouka/2011/documents/28-104401.pdf
- ・ 山梨県立博物館『よみがえる武田信玄の世界』, 2006 年.

IV 結語－「信玄公祭り」の特質・意義

中学校歴史授業としての「信玄公祭り」の特質・意義は、次の 3 点にまとめられる。

1 つめは、歴史的人物の祭りという現在の事象を主要な対象として取りあげることである。勿論、戦国時代についての授業の導入で戦国武将の祭りに触れるなど、主要な対象への興味づけのために関連する歴史上の人物の祭りに触れることは珍しくなかつた。しかしながら、歴史上の人物の祭りそのものを一種の語りにとらえて歴史授業の主要な対象とすることはなされてこなかった。「信玄公祭り」は身近な地域の歴史祭りという現在のパブリックな領域における歴史を分析検討の対象とする。そうすることで社会に溢れる既存の歴史を鵜呑みにせず熟考的に取り扱えるようにするために寄与する。とともに、歴史授業において生徒が過去の学習ではなく現在の学習を行えるようにする。

2つめは、現代社会における過去をめぐる営みについて学ばせることである。「信玄公祭り」によって生徒は、歴史祭りを社会的にうみだされたもの、社会的に作用しうるものと見るようになり、地域振興のための観光資源化による利用また住民の歴史像や地域像・自己像への作用を認識する。歴史祭りが現在においての歴史上の人物の取り扱いや過去の取り扱いを表すことに気づき、社会における歴史の利用や作用をとらえるわけである。「信玄公祭り」は歴史授業を現在の学習とするだけでなく、現在の社会の学習とすることができるものである。

3つめは、存在把握、分析、評価という社会形成に向けた考察や過程に取り組ませることである。「信玄公祭り」は3段階の考察の過程をとることで生徒が歴史祭りの探究を通じて実質的に社会の形成に向けて取り組めるようにし、歴史祭りを既に在るものから別様に在りうるものへととらえなおすことで過去の取り扱いの今後の在り方を考えるように生徒を導く。いかなる歴史も政治的社会的立場を根底にもち、現在の認識や未来の志向と結びついており、そのような歴史のよりよい在り方を考えられるように導くことは、社会科としての歴史授業の任務といえる。「信玄公祭り」は社会における歴史の利用や作用をとらえることに比重をおきつつも、それらを評価づけて判断することまでを求めるものであり、社会の形成のための学習といえよう。

小単元「信玄公祭り」では、身近な地域の歴史上の人物の祭りを取りあげ、存在把握と分析や評価に取り組ませる。これは語りとしての歴史との熟考的なかかわりを生徒に求め、歴史授業でありながら現在を対象とし、現在の社会における過去の取り扱いの有り様や在り方を問うという社会の探究を可能にするものであり、社会科としての歴史授業と呼べるものである。と同時に、日本各地の中学校での類似の祭りに関する授業実践化のためのモデルを提供するものである。中学校社会科において、現在の社会の見つめなおしや問いなおしのためにパブリックな領域における歴史について探究できるようにする歴史授業が可能であり、その在り方をさらに追求していく必要があろう。

註

1) ドイツでは社会における過去とのかかわり方が「歴史文化 (Geschichtskultur)」と呼ばれ、歴史教育の内容として取り込まれはじめている (Pandel,Hans-Jürgen, Geschichtskultur, in: Mayer,U., Pandel,H.-J., Schneider,G., Schönemann,B.(Hrsg.), *Wörterbuch Geschichtsdiaktik*, Wochenschau Verlag, 2006, S.74, ders., *Geschichtsdiaktik*, Wochenschau Verlag, 2012, S.161-177, 他, 参照)。小単元「信玄公祭り」の着想は、同国の歴史教育における「歴史文化」の取り扱いに関する分析を通して得たものである。

ドイツの歴史教育における「歴史文化」の取り扱いに関しては、差し当たり、次の拙稿を参照されたい。服部一秀「中等一貫歴史カリキュラムにおける歴史文化探究力の育成ーザクセン州ギムナジウムの歴史科 (第5～12学年) の場合」, 全国社会科教育学会『社会科研究』第76号, 2012年, 同「年代史カリキュラムにおける現代の歴史文化の探究ーザクセン・アンハルト州中等学校 (第5～9・10学年) の歴史科の場合」, 社会系教科教育学会『第24回研究発表大会発表要旨集録』, 2013年, 同『『歴史的コンピテンス』の育成を図る歴史教育の導入単元ードイツの事例』, 『日本社会科教育学会全国大会発表論文集』第9号, 2013年。

2) 服部, 前掲論文, 2012年, p.1, 参照。

3) 代表的研究として, 児玉康弘『中等歴史教育内容開発研究』, 風間書房, 2005年。

4) 例えば, 原田智仁「歴史リテラシーの可能性 (1) ～ (10)」, 文部科学省『中等教育資料』平成14年12月号～平成17年2月号, ぎょうせい, 2002～2005年, 宮本英征「地域から考える世界史プロジェクトの授業実践」, 『歴史と地理』No.634, 山川出版社, 2010年, pp.19-24, など。

5) 信玄公祭りの公式ホームページ: <http://www.yamanashi-kankou.jp/shingen/>, 参照。

- 6) 阿南透『『歴史を再現する』祭礼』、『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』第26号, 1986年, 新谷尚紀「信玄公祭り・甲州軍団出陣」, 『山梨県史民俗編』, 山梨県, 2003年, 他, 参照。
- 7) 同上論文, 参照。
- 8) 3つのアプローチによる考察の展開については, 池野範男「社会的探求者としての社会科教師」, 広島大学附属小学校学校教育研究会『学校教育』No.967, 1998年2月号を参考にしている。

その他の参考文献

- ・安達一紀『人が歴史とかかわる力』, 教育史料出版会, 2000年.
- ・大野道邦『可能性としての文化社会学』, 世界思想社, 2011年.
- ・岡本充弘「開かれた歴史へ」, 『歴史評論』No.745, 校倉書房, 2012年.
- ・野家啓一『歴史を哲学する』, 岩波書店, 2007年.